

分科会 1 【細胞治療・遺伝子治療】

座長：山口 照英（PMDA/国立衛研）／佐藤 陽治（鈴木 和博）（国立衛研）

先端バイオ医薬品として急速に開発が進む細胞治療薬と遺伝子治療薬は、開発における課題がオーバーラップする部分も多くあり、また稀少疾病を対象とすることも多く、さらに臨床研究と治験が並行して進められているという特徴があります。一方、iPS 細胞など境界領域に相当する開発にも多くの期待が寄せられています。そこで細胞治療と遺伝子治療の両方の専門家をお招きして、それぞれ個別の課題と共通する課題について解説していただくとともに、提起された課題について議論をする機会をもつことにしました。
